

 ひよこ組

4月当初は2名で始まりましたが、徐々にお友だちが増え、現在7名となりました。1歳未満の低月齢の子と、1歳半過ぎの高月齢の子と、時に活動を分けながら過ごしています。

外遊びが好きな子どもたちなので、天気の良い日は散歩に出掛け外遊びをたくさん楽しんでいます。入園当初は歩けなかった子が、靴に慣れ、遊具の手すりにつかまり、歩行を覚え、今では自由に探索を楽しんでいる姿に成長を感じています。お砂をカップに出し入れする遊びや、地面に丸を描いた輪でジャンプをすることも好きなようです。

室内でも体を動かして楽しめるように、マットの下に台を置いて段差の上り下りやジャンプをして遊んでいます。柔らかいマットの上はバランスを取るのが難しいですが、少しずつ体幹が付き、一人でも安定して立てる子が増えてきました。また、体操も好きで特にアンパンマンの“サンサン体操”をかけると保育者の姿を真似しながら楽しんでいます。

手先を使う遊びも集中を見せ、シール貼りやシールはがし、すき間にカードを差し込む遊びを、手先を器用に使って楽しんでいます。

低月齢の子もすくすく成長し、ずりばい、ハイハイ、たっちと一つ一つの動きを習得し、動くことを楽しんでいます。動けるお友だちの姿を目で追って、たくさん刺激を受けているのでしょうね。

生活面については食事でスプーンを使って食べることが上手になっています。今は自分で食べたいという気持ちが強くあるので、スムーズに口に運べるように、スプーンに食材をのせておくようにしています。その反面、以前まで食べていたものを急に食べなくなったというご相談も受けることがあります。苦手なもの、好みもそれぞれありますが、一口食べられるかな？と、誘いながら様子を見守っています。見た目目で抵抗があり、手が出せない時には、保育者がおいしそうに食べてみせると、安心して食べだす子もいます。

低月齢の子は、ご家庭と相談しながら離乳食を進めています。初めは苦手な表情を見せていましたが、日に日に大きな口を開けて食べてくれるようになりました。お友だちと顔を見合わせ、にぎやかに食べることで、食欲が増すのかもしれないですね。

ひよこ組は、月齢の差が大きくありますが、毎日一緒に過ごすことで、親しみがわき、少しずつお友だちを意識する時期です。一緒に笑いあったり、同じことをしてみたりと日に日に子どもたちの関わりが増えていくことが、とても微笑ましい気持ちでした。これからも様々な経験をし、すくすく成長していくことを楽しみにしています。(高津)



## いす組

この1年で大きな成長を遂げたりす組の様子をお伝えします。

朝、登園した後は、すぐに好きな遊びを見つけて遊び出すのですが、以前は1人ひとりが自分の好きな遊びを静かに黙々と遊んでいることが中心でした。今では友だちの遊びに興味を持ち、同じ遊びを楽しんでいます。友だちの持っている「それが欲しい」という気持ちから、物の取り合いになることも多々ありますが、「かして」のやりとりを仲立ちしながら繰り返し伝えてきたことで、子どもたちから身振りと共に「かして」と相手に伝える姿も見られるようになってきました。

歌も好きで「かえるのうた」「さんぽ」「おにのパンツ」「はたらくくるま」「パンダうさぎコアラ」とレパートリーも増えていて、語尾を中心に一緒に歌って楽しむ様子は、息ピッタリ！クラスの団結を感じさせるほどです。

散歩では、散歩車に乗ったり、保育者と手をつないで歩くことに加えて、友だちと手をつないで歩く経験を重ねているところです。

生活面においては、身の回りのことを自分でやってみようという気持ちが増してきています。できることが増えることは、子どもにとって自信となり、何より喜びに繋がっています。

トイレトレーニングについては、個人差に合わせて進めています。便座に座ることに慣れる。午睡明け、おむつに出ていなかった時に、トイレに誘うなどタイミングを見ながら行っています。今後は、パンツ移行までの過程をご家庭と連携を図りながら、無理なく進めていきたいと思っていますので、自立に向けて一緒に見守っていきましょう。

食事では、スプーンを下から持って食べることができるようになってきていると同時に、食べこぼしも減ってきています。その反面、好みがはっきりとしてきて、野菜などを勧めても食べてくれないことが増えました。保育者がおいしそうに（オーバーリアクションで）食べると、食べてくれることもあるので、最近はよく一緒に食べています。

食事だけに限らず、一進一退を繰り返しながら成長していく子どもたちの気持ちに寄り添いながら、これからも基本的な生活習慣の自立に向けて、1人ひとりに合った援助をしていきたいと思っています。今から1年後の姿が楽しみです。（齊藤）

砂場での型抜き遊びでは、毎回とっていいほど、誰かの誕生日パーティーが開かれます。棒をロウソク、白い小さな石はクリーム、どんぐりはイチゴに見立て、素敵なケーキが出来上がります。もちろん、誕生日の歌もみんなて歌います。

トイレトレーニングでは、大小2つのトイレに行っていますが、なぜだか大きいトイレが大人気！毎回、我先にとトイレの取り合いがありました。だんだんと待つことを覚えて、今では取り合いはなくなりました。トイレに行きたくない時には、無理せず、おむつ替えのみにしていますが、「お友だちと一緒にいこう。」と誘うと、すんなりとトイレに行くことができます。お友だちの力は、偉大ですね。また、おむつ（パンツ）とズボンを足首まで下ろして座ると、「お姉さん（お兄さん）みたいだね。」と、喜んで座れることが多いです。今では、全員が少なくとも1日1回は、トイレに座ることができるようになりました。

身の回りのことに興味が出てきており、洋服の着脱はもちろん、洋服の前後、表裏、靴の左右を気にする姿が見られ、どんどんできることが増えています。できない時、やりたくない時には、「先生やって〜」と、言葉で伝えることができる甘え上手さんたちです。

これから、新しい門出に向かう子どもたちの更なる成長が楽しみです！ 卒園おめでとう♪（漆島）

## うさぎ組 ぱんだ組

うさぎ・ぱんだ組の1年間の様子をお伝えします。

お友だちと一緒に、ごっこ遊びを楽しめるようになった子どもたち。毎日、色々な設定が飛び交います。「さあ、溶岩の上を歩くから気を付けて。」「ホテルに泊まるからバスに乗ろう。」「プラコップを床に横向きに置き」「ジェットバスに入りましょう！」等等。子どもたちの発想力の豊かさと語彙力の高さに感心させられたり、一緒に笑ったりしながら毎日楽しく過ごしています。

公園では、オオカミごっこ、鬼ごっこ、ぽっくり等、体を動かす遊びも大好きです。オオカミごっこでは、必ずオオカミに指名される保育士が子どもたちを追いかけて遊びがスタートします。ですが、途中で形勢逆転し、警察に扮した子どもたちが「悪者のオオカミめ！」と言って、オオカミを逮捕し始めます、その後は、牢屋に入れられてしましますが、脱獄の手助けをしてくれる子どもたちと逃走…という遊びをエンドレスで繰り返しています。その都度、役割が入れ替わったり、協力し合ったりと子ども同士の関わり方も深くなってきているように感じます。

